

市内全域の土質を色分け

道路やビル建設のためのボーリングを手掛ける北海道土質コンサルタント（札幌市豊平区、池田晃一社長）が、市内全域の地盤の硬さなどが分かる「札幌地盤図」を作り、市や中学校に寄贈した。土質を粘土質や火山灰などで色分けしており、宅地造成で沢を埋め立て、地盤が安定していない地域などがひと目で分かる。防災や土質の勉強に役立つため、希望する町内会などには、無料で配布するという。

（黒田伸）

地盤の硬さひと目で

調査会社が図作製



「札幌地盤図」の表紙を広げる池田晃一社長

地盤図は同社が創業五十周年を記念して作製。約七千本のボーリング資料を解析し、一九九四年に初めて作った「札幌表層地盤図」に、その後に行った千七百本のボーリング資料を加え、新たにまとめた。縦四十センチ、横八十センチの大型地図など十三枚を使い、全市の地盤を「泥炭」「粘土」「火山灰」な

市などに配布「防災に役立てて」

どと色分けしたほか、南北、東西に各六本の断面図を記した。自分の住んでいる地域がどんな地盤なのか、立体的に分かるようになっている。

また、厚別区や清田区の一部には、河川を火山灰で埋め立てた「沢埋め造成地」があり、埋め立てた部分を赤く色付けした。

同社は市内の全市学校や市役所、各区役所、事業所、全道の建設業者などに千数百部を無料で配布。残部約百部も小学校や希望する町内会などに無料で配布する。池田社長は「地域の防災に役立ててほしい。小中学生には、札幌の土質に興味を持つきっかけになれば」と話している。問い合わせは、平日の午前九時～午後五時に同社 ☎ 841・1466へ。